



香椎宮の近代史料の活字化、 デジタルアーカイブ化

地域共創学部
観光学科
教授

石川 泰成



研究シーズの紹介

本研究は、明治～大正期の香椎宮の復元事業に関する歴史資料を活字化、デジタルアーカイブ化することにより、香椎宮の歴史研究に資する。この歴史資料の公開により、観光地としての香椎宮の可能性を広げることができる。



歴史資料の利用

- 画像はデジタル修復技術を用いて新しいビジュアル展示物が可能です。
- 歴史資料の画像化で、集客する効果があります。



香椎の地名の由来、香椎の 古写真のパネル化の例

期待される活用シーン

- 香椎宮、香椎商店街などのまちづくり、振興企画



歴史マニア、街の賑わい企画に
パネル展示を提供



- 小・中・高の郷土学習の副読本が欲しい



歴史的絵図や図版、古写真を
用いたテキストを作成。



その他の研究テーマ

・立花山に関する研究、新宮相島の歴史研究